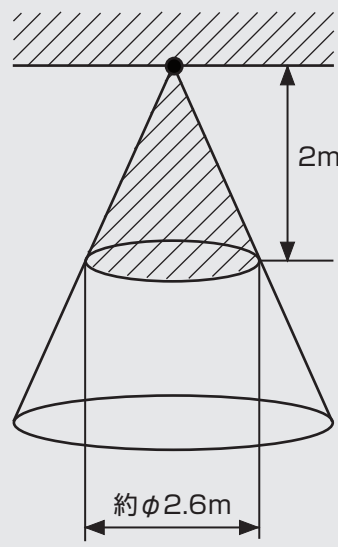


照度センサ器具に関する注意事項

1. 検知範囲

- センサは円錐形の内部（高さ2mで直径約2.6m）の範囲を検知します。



照度センサ範囲

2. 取付上および取扱上の注意事項

- ① 外光の影響により明るさ検出の値が変化するので、取付位置は次のような点を考慮してください。
 - ・窓に近い位置に施工すると、部屋の外や窓の明るさを検知することになりますので、床面 机上面の明るさを正確に検知するには、窓から離れた位置に配置する必要があります。
 - ・太陽光など強い光が直接センサに入り込む位置に配置すると、この影響を強く受けるため、誤動作の原因となります。
 - ・鏡、ブラインドの反射光がセンサに入射する場合には、同様に誤動作の原因となります。スポット光などがセンサに入射する場合には、同様に誤動作の原因となります。
- ② 取付位置は他の電子機器から出来るだけ離してください。
- ③ 受光部は汚さないでください。
- ④ 故障の原因となりますので、衝撃を与えないでください。
- ⑤ 器具には急激な温度変化を与えないでください。結露などの原因となります。
- ⑥ 器具取り付けが斜めに傾くと検知範囲も影響しますのでご注意ください。
- ⑦ 施工、及び清掃の際は、接続調光器の電源を切ってください。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

出張修理

お買いあげ販売店(工事店)に次のことをお知らせください。

- ・品名：人感センサ
- ・形名
- ・設置完了日(下記年月日)
- ・故障の状況(具体的に)
- ・ご住所(近所の目印も合わせてお知らせください)
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

保証について

- 保証書が必要な場合は販売店(工事店)までお申し出ください。
- 保証期間…設置完了日から1年間です。

保証の免責事項

- 保証の免責事項につきましては、保証書、またはカタログをご参照ください。

形名	
設置完了日	年 月 日
販売店(工事店)名	

お問い合わせ先



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ 検索

<https://jp.sharp/support/>



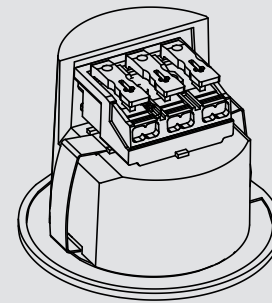
使用方法のご相談など
【お客様相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル 0120-508-562
携帯電話からは、ナビダイヤル 0570-550-189

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用できない場合は 050-3852-5405 FAXの場合 06-6792-5993
■ご相談受付時間(年末年始を除く) 月曜日～土曜日/午前9時～午後6時 日曜日・祝日/午前9時～午後5時

シャープ株式会社 本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
SAS事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

SHARP® 天井埋込センサ器具 (照度センサ) 工事説明書および取扱説明書



形名
ディー エル ワイ エス
DL-YS001
適合調光器
ディー エル ワイ アール
DL-Y010R

保管用

安全上のご注意

必ずお守りください
人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して説明しています。

- 警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
- 注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

- お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

- ⊘ してはいけないこと。
- ! しなければならないこと。

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

工事店様へ 施工上のご注意

- お願い ● 工事が終了しましたら、形名、設置完了日、販売店(工事店)名を4ページに記入して、この説明書を必ずお客様にお渡しください。

警告

- ⊘ ● 器具を改造したり、部品を変更して使うことは絶対にしない。(器具落下、感電、火災の原因)
- 器具に他の荷重をかけない。燃えやすい物で覆わない。(落下、感電、焼損、火災の原因)
- ! ● 器具の取り付けは、本説明書の「器具の取付方法」にしたがっておこなう。(接続が不完全な場合、発熱、火災の原因)
- 表示されたDC12V±6%内で使用する。(短寿命、火災の原因)
- AC接続しないでください。

注意

- ⊘ ● この器具は一般屋内専用器具です。傾斜天井、壁面には取り付けない。重量に耐える場所に設置する。(指定以外の取り付けをおこなうと器具落下の原因)
- この器具は防湿形ではありません。湯気、湿気の多い場所や結露する場所では使わない。(絶縁不良、感電の原因)
- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所、雨の吹き込みを受ける場所では使わない。(感電、落下、サビの原因)
- ! ● 周囲温度は5～35℃の範囲で使用する。(発熱、短寿命の原因)
- 設置の際は必ず調光器の電源を切り、手袋などの保護具を使用する。濡れた手で器具を取り扱わない。(感電、ケガの原因)
- 設置の際は適切な作業設備により安定した姿勢で取り付けをおこなう。(転落の原因)
- 雑音機器(ラジオ・ワイヤレス方式機器)からはなるべく離して使用してください。

お客様へ 使用上のご注意

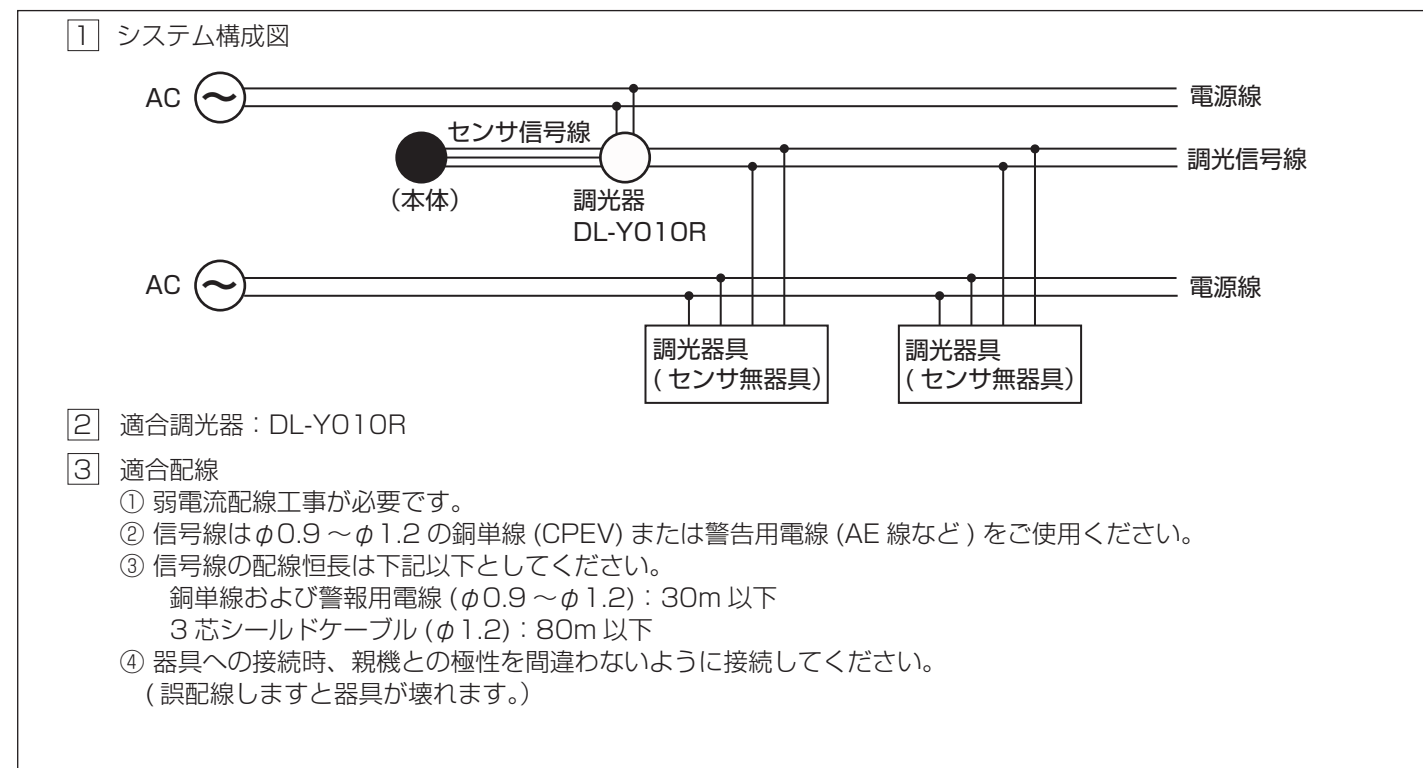
警告

- ⊘ ● 器具を改造したり、部品を変更して使うことは絶対にしない。(器具落下、感電、火災の原因)
- 器具を可燃物で覆ったり、燃えやすいものを近づけない。(発熱、火災の原因)
- ! ● 煙、臭いなど異常を感じたら、すぐに調光器の電源を切る。(感電、火災の原因)

注意

- ⊘ ● 器具をアルカリ洗剤や薬品などで拭いたり殺虫剤をかけたりしない。(故障、落下、感電の原因)
- ! ● 周囲温度は5～35℃の範囲で使用する。(発熱、短寿命の原因)
- 3～5年に1回は、工事店の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。

システムの構成図

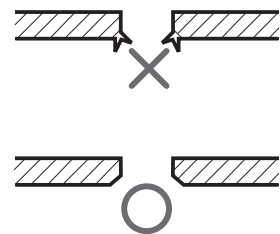
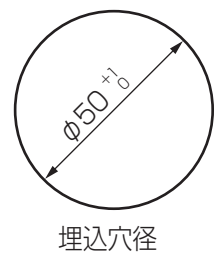


器具の取付方法

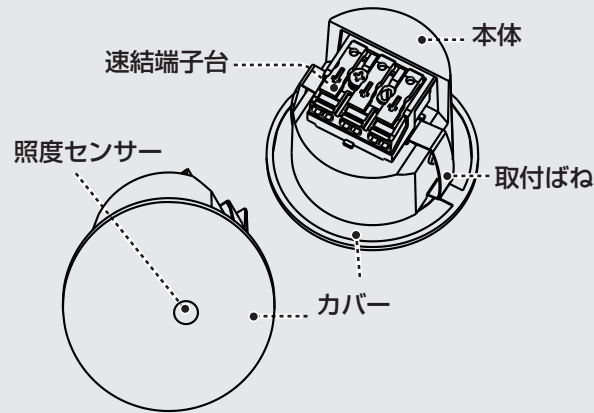
器具の取り付けは確実にしてください。器具落下の原因となります。
●安全のため、取り付け高さに応じた適切な作業台や脚立を用いておこなう。

1. 埋込穴をあける

1 専用の工具で天井に埋込穴φ50(±0/+1)mmをあける。取付前に器具重量や操作に十分に耐えるよう、取付部の強度を確保する。器具上に10cm以上のスペースが必要です。天井裏の構造に注意。
※取付可能天井厚は、5～25mmです。
※埋込穴にできたバリは十分に取り除いてください。

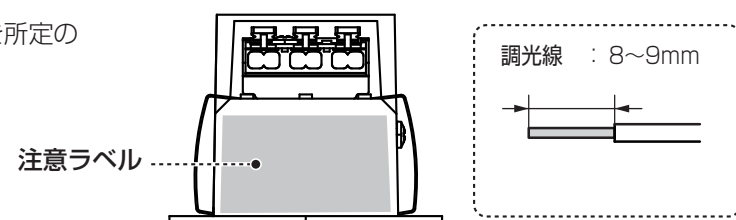


各部のなまえ



2. 信号線の接続

1 注意ラベルの表示にしたがい、信号線の被覆を所定の長さ(8～9mm)にストリップする。(信号線は適合電線を使用する)



2

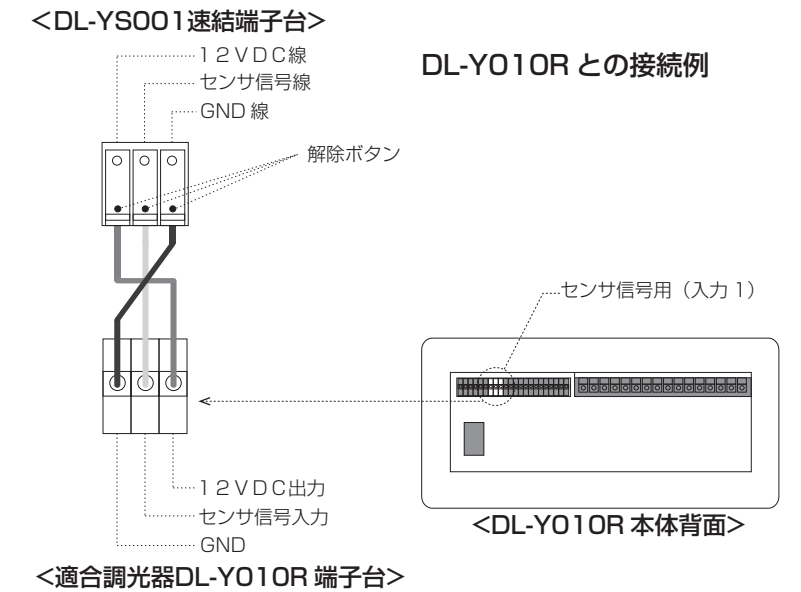
信号線を端子台の挿入面に、直角に奥まで確実に差し込んで接続する。
(一度引っ張り、接続の確認をする)
差し込みにくい場合は、解除ボタンをマイナスドライバーで押しながら差し込む。
(適用ドライバー：刃先幅5.5mm以下、先端厚0.8mm以下)
※端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まない。(感電、火災の原因)

3

信号線の配線は、右図のように正しく挿入する。
(誤った配線をする、発熱、発火、落下の原因)

4

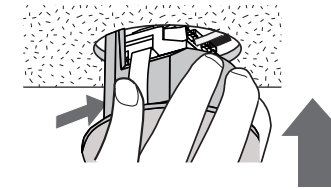
信号線をはずす場合は、必ず調光器の電源を切ってから解除ボタンをマイナスドライバーなどで強く押しながら引き抜く。
(適用ドライバー：刃先幅5.5mm以下、先端厚0.8mm以下)



3. 天井に取り付ける

1

取付ばね(2カ所)を押さえながら、天井(埋込穴)に対して平行に押し込み、ゆっくりと確実に取り付け。
※本体の挿入が固い場合や天井とのすき間ができるなどの場合は、少し回転させながら押し上げるか、または取付ばねをゆっくりとスライドさせながら再度挿入する。
※本体と天井の嵌合が緩い場合は取付ばねを少し広げて再度挿入する。

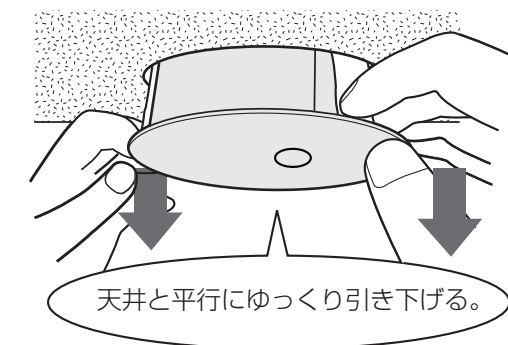


器具の取りはずし方法

天井から取りはずす

1

必ず調光器の電源を切ってから、カバー部分と天井との間に指をかけてゆっくり器具を天井と平行に引き下げ、取りはずす。
※無理に引き下げようとする、天井材破損のおそれがあります。



2

信号線をはずす場合は、必ず調光器の電源を切ってから解除ボタンをマイナスドライバーなどで強く押しながら、信号線を引き抜く。
(適用ドライバー：刃先幅5.5mm以下、先端厚0.8mm以下)